

上尾市立大石中では
社会科の授業として、
10月29日全校生徒
による模擬投票が行わ
れました。佐々木孝夫
さんの発案で教師団体
の協力で実現。

衆議院総選挙を前に
「聞きたいこと」を全
24学級約900人の
生徒にアンケートし、
多かった10項目を選
び「なぜ知りたいか」

教育文化
研究所
コトナ

模擬投票から学ぶ

の理由もつけて国政の
6政党に送付。全6党
の回答をまとめ印刷し
全生徒に配布。生徒ら
はこの回答を参考に模
擬投票しました。

「各政党への質問を
考える時に、今の日本
について深く考える事
ができた。10項目の
質問書を読み、こんな
に社会には課題がある

(1年生の感想)
たのは、新型コロナ関
連で、2年生は沖縄の
米軍基地問題、3年生
は憲法9条改正など、
最近学習したテーマに
する事はとても大切だ
という事が分かった」

（事務局長 山内芳衛）

署名への
ご協力
ありがとうございました！



国会に請願します。
文教委員会で12月下旬に審査されます。国
会には、年明けの通常国会に請願します。

「気軽に誘う・みんなで取り組む」 ～北足立北支部の3か年計画を見据えた組織の拡大強化～

北足立北支部では、隔週で支部執行委員会を、支部での単組代表者会議を年5回開催して、その中で毎回、組織の拡大強化について協議し、具体的に対象者をあげながら取り組みを進めています。感染症対策に万全を期しながら、ようやく学習会や採用試験対策講座を開けるようになり、未組の先生達の要求に応えながら、組合加入への動きが活発になってきました。昨年度の支部定期大会において、支部組織拡大3か年計画を決定し、

それに基づいて1年目は新規拡大目標6人に迫る5名の拡大ができました。2年目となる今年度は、執行委員会では「どんどん気軽に組合に誘っていこう！」をキーワードに（私自身は苦手としているのだが）、桶川、北本、伊奈などで役員を中心に未組の先生との対話を広げています。今年度の新規拡大目標の9名まではまだですが、共済加入も含めて引き続き拡大活動を広げていきたいと思います。そのためには、支部や単組

の役員だけでの拡大活動では限界があります。集って話し合う組合活動を大切にしながら、オンライン会議やSNSでの情報提供などでも組合員同士のつながりを作つて、より多くの組合員で未組の先生に「気軽に誘う」対話を強めています。



とどけ！埼玉3.6万、全国235万余の願い ～父母負担の軽減、少人数学級の拡充、特別支援学校の増設～

「ゆきとどいた教育をすすめる会」による集約集会では、全国の公立学校・私立学校から約35万3千筆（12／10時点）を確認しました。私たちが、すべての子どもたちの学びと成長を、社会全体で支えることを求めます。



今年の対県要請集会（11/24）



集会後に浦和駅までパレード

